

フォナック テレビリンク II

Phonak TVLink II

取扱説明書



はじめに

このたびはフォナック社製品をお選びいただき、誠にありがとうございます。

フォナック テレビリンク II はテレビや音楽機器に接続して使用する Bluetooth アダプターです。フォナック コムパイロット II など、フォナック補聴器用インターフェース (ストリーマー) と共に利用します。

ご使用いただく前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

取扱説明書で不明な点がありましたら、本取扱説明書に記載されております「お客様相談窓口」までお問合せください。

※ 本書では「フォナック テレビリンク II」を「テレビリンク II」と表記します。

1. 安全上のご注意 (必ずお守りください)

- お使いになる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管ください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や他人への危害、財産への損傷を未然に防ぐための内容を記載しておりますので、必ずお守りください。
- 次の表示区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重症を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重症を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「損傷を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

危険

- 本体および AC アダプターは絶対に分解、改造をしないでください。火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。
- 濡らさないでください。発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いに注意してください。
- 火のそばや、直射日光の強いところ、炎天下の車内など高温の場所に放置をしないでください。

警告

- AC アダプターのケーブルを無理に曲げたり、上に重いものをのせたりしないでください。ケーブルに傷がついて火災や感電の原因となります。ケーブルが傷ついた場合は使用しないでください。

注意

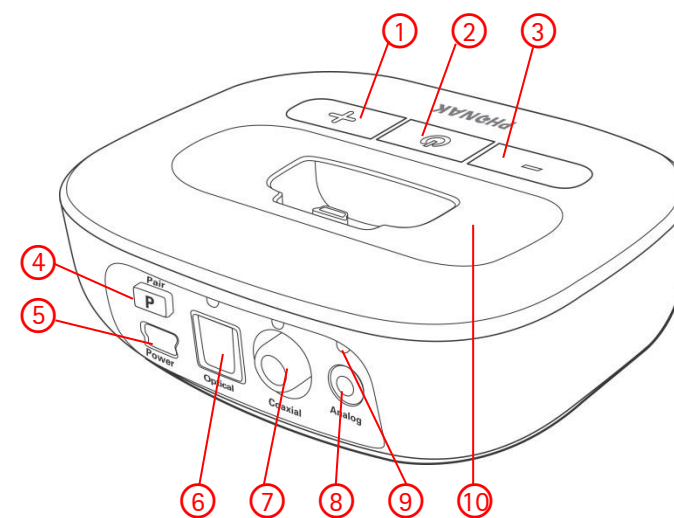
- フォナック指定以外の AC アダプターは使用しないでください。発熱、発火するなどして、火災や事故の原因となります。
- 湿気の異常に多い場所や水分のかかる可能性のある場所では、絶対に使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- AC アダプターや接続ケーブルをコンセントやコネクタから抜くときはコネクタ部分を持って外してください。ケーブル部分を引っ張ると故障の原因となります。
- 次のような場合はただちに電源を切り、AC アダプターをコンセントから抜いてください。
 - 異常な状態から回復できないとき
 - 異臭がする、煙が出た、または異常音が発生したとき
 - 本体の内部や隙間に金属片や水などの異物が入ったとき
 このような状態のまま使用すると、事故や火災の原因となります。
- 本製品はフォナック・ジャパンまたはフォナック・ジャパンが指定するサービスセンターによるのみ修理可能です。
- 付属品はフォナック指定のものを使用してください。

2. 本体付属品

- テレビリンク II 本体
 - AC アダプター
 - アナログ音声出力用ケーブル (Yケーブル)
 - ヘッドホン端子用ケーブル
 - 光デジタル音声出力用ケーブル (角型)
 - 同軸デジタル音声出力用ケーブル
 - 交換用充電ソケット
- (コムパイロット II・コムパイロット用)

- +ドライバー (充電ソケット交換用)
- 充電ソケット固定用ネジ (予備)
- テレビリンク II 保証書
- 取扱説明書 (本書)

3. 各部の名称



ボタン

- ① 音量調節ボタン (上げる)
- ② 確認ランプ付電源ボタン
- ③ 音量調節ボタン (下げる)
- ④ ペアリングボタン

端子類

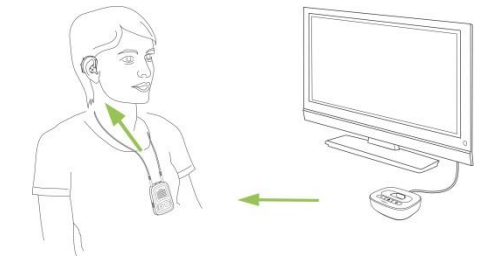
- ⑤ ミニ USB ソケット
- ⑥ 光デジタル音声入力端子
- ⑦ 同軸デジタル音声入力端子
- ⑧ アナログ音声入力端子
- ⑨ インジケーター

その他

- ⑩ 充電ソケット (交換可能)

4. テレビリンク II 使用イメージ

テレビリンク II は、テレビの音声をコムパイロット II などのインターフェースを介してフォナック補聴器へ伝送します。テレビリンク II の電波が届く範囲は見通しで約 30m です。(使用環境により異なります)

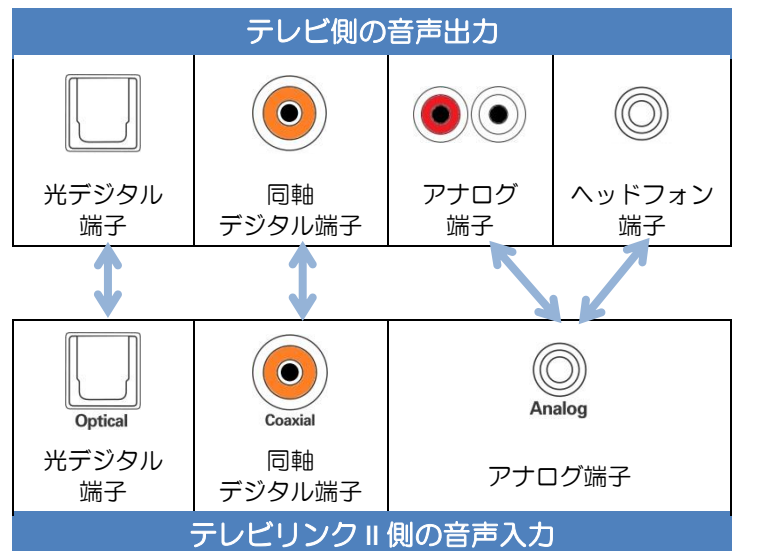


Bluetooth®は米国 Bluetooth SIG, Inc.の商標です。

5. テレビリンク II の準備

音声入出力の接続

ご利用になるテレビの出力端子の種類をお確かめの上、適切な接続方法をご使用ください。デジタル出力とアナログ出力の両方が使用可能な場合は、音声の劣化が少ないデジタル端子をご使用ください。



光デジタル音声出力用ケーブル (角型) をご使用の際は、先端のキャップを外してください。

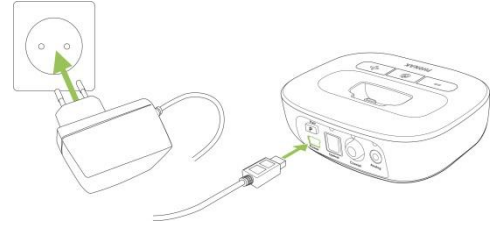


通常、使用する入力音源は一種類ですが、複数の入力音源を接続している場合の優先順位は以下のとおりです。

1. 光デジタル端子
2. 同軸デジタル端子
3. アナログ端子

電源の接続

AC アダプターを接続します。AC アダプターのミニ USB 端子をテレビリンク II のミニ USB ソケットに接続してから、AC アダプターをコンセントに差し込みます。



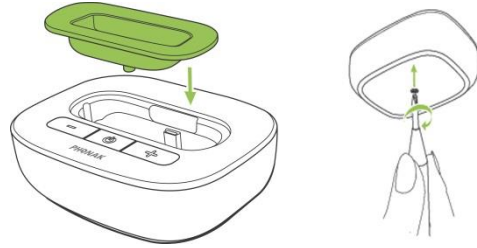
6. 充電ソケットについて

テレビリンク II には、コムパイロット II、コムパイロットまたはコムパイロット エア II 用の充電ソケットがあります。充電ソケットを交換する場合は以下の手順で行ってください。

- ① テレビリンク II 底面のネジを+ドライバーでゆるめ、いま取り付けられている充電ソケットを外します。



- ② 新しい充電ソケットをテレビリンク II にセットし、底面のネジを元通り締め直します。



7. Bluetooth ペアリング

TV パッケージ (セット商品) は工場出荷時点でペアリングを行っていますので、この作業は不要です。

テレビリンク II と補聴器用インターフェースをワイヤレス通信させるには、ペアリングという手続きが必要となります。ペアリングとは、Bluetooth 機器同士を通信させる際の初期登録であり、この作業は初めて使うときに一度だけ必要です。

- ① あらかじめ、テレビリンク II とペアリングしたいインターフェースを手元に用意しておきます。テレビリンク II の電源は、オフにしておきます。
- ② ペアリングしたいインターフェースを、Bluetooth ペアリングモードにします。
 - コムパイロット II の場合、電源をオンにし、接続ボタン (◀▶) を押しながら音量調節ボタン (+) を長押ししてください。
 - コムパイロット エア II の場合、音量調節ボタン (+) を押しながら電源をオンにし、確認ランプが青色の素早い点滅になるまで押し続けます。
- ③ 未ペアリングの場合、テレビリンク II は電源をオンにすれば自動的に確認ランプが青色の速い点滅に変わり、ペアリングモードに切り替わります。2 台目以降のペアリングの場合は、テレビリンク II の電源をオンにし、ペアリングボタンを押すと、ペアリングモードに切り替わります。完了後、テレビリンク II の確認ランプが青色の点灯に変わります。
- ④ 2 分以内にペアリングが終了しない場合、テレビリンク II は自動的にペアリングモードを終了します。その際にはもう一度ははじめからペアリング操作をやり直してください。
- ⑤ 同じ Bluetooth 機器ともう一度ペアリングを行う場合、ペアリング情報の削除が必要です。ペアリング情報の削除は、テレビリンク II のペアリングボタンを約 10 秒、青色の速い点滅が一旦止まるまで押し続けます。

8. テレビリンク II を使用する

- ① 補聴器およびインターフェースを正しく装着します。
- ② テレビリンク II の電源ボタンを押して電源をオンにします。確認ランプが緑色に点灯します。
- ③ テレビの音声が入っているときは自動的に通信を始め、テレビリンク II の確認ランプが青色の点灯に変わります。
 - ※ 通信を中断したい場合は、インターフェース側で操作します (コムパイロット II の場合メインボタン)。確認ランプが青のゆっくりした点滅に変わり、一時停止状態になります。通信を再開する場合も同様です。
 - ※ 音量が足りない、もしくは大きすぎる場合はテレビリンク II の音量調節ボタンを使用してください。調節幅は上下各 7 段階です。

※ 音が途切れる、または聞こえない場合はケーブルのジャックがしっかりと差し込まれているか確認してください。

9. 最大ペアリング数

テレビリンク II には、対応するインターフェースを合計 4 台までペアリングすることができます。なお、2 台以上を同時に使うことはできません。

10. 確認ランプ表示

確認ランプでは、テレビリンク II の状態を知ることができます。

電源オン	点灯(緑)
通信中	点灯(青)
一時停止中	緩やかな点滅(青)
ペアリングモード	速い点滅(青)
音声入力なし	点滅(緑)
テストモード	4 色点滅

11. テストモード

テレビリンク II に音声信号が正しく入力されているか、またインターフェースとの通信が正しく行われているかどうか、テストを行うことができます。

- ① テレビリンク II の電源を切っておきます。
- ② インターフェースの電源をオンにし、首にかけておきます。
- ③ 電源ボタンと音量調節ボタン (-) を確認ランプの色が変化するまで長押しします。
- ④ 通信が正しく行うことができているら、確認ランプが青/緑または青/橙の 2 色に変化し、インターフェースを通じて補聴器から確認のメロディが 2 分間流れます。テレビリンク II のいずれかのボタンを押すとその時点でテストモードを終了します。確認ランプの意味は下記のとおりです。

	音声信号入力	Bluetooth ストリーミング
赤橙...	入力なし	不可
緑橙...	入力あり	不可
赤青...	入力なし	正常
緑青...	入力あり	正常

12. 保証期間とアフターサービス

- テレビリンク II の無償保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。製品に同梱している保証書に「販売店名」「お買い上げ年月日」などが記載されていることを確認の上、大切に保管してください。
- お客様、または第三者による誤った使用、過失、故意または改造による故障の場合は有償修理となりますのでご了承ください。
- 保証期間内の修理の際には、保証書が必要となります。
- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

シンボルマークの説明



CE 記号は、この機器が欧州連合の指令 1999/5/EC の基本規定条項に適合していることを示しています。



この記号は、使用者が取扱説明書に書いてある内容を読み理解してもらうことが大事であることを示しています。



この記号は、通常と異なるごみ処理が要求される可能性があることを意味します。処分される際はお住まいの自治体が定める方法に従ってください。



技適マークは、この製品が電波法令で定めている技術基準に適合している無線機であることを表します。

使用/輸送/保管時の環境条件 (温度/湿度)



製品の輸送・保管時の周囲温度は -20℃ から 60℃ の間、使用時の周囲温度は 0℃ から 40℃ の間でなければなりません。



製品の輸送・保管時の環境は湿度 90% 以下、使用時の周囲温度は 95% 以下 (いずれも結露しないこと) でなければなりません。



この記号は、製品の輸送、保管時に水濡れ厳禁であることを示しています。

製造販売業
フォナック・ジャパン株式会社
〒140-0002
東京都品川区東品川 2-5-8
天王洲パークサイドビル 8F
TEL0120-06-4079
(お客様相談窓口)
FAX0120-23-4080
www.phonak.jp



PHONAK
life is on